

報道関係各位

2011年6月21日

ー全国のコカ・コーラシステムで初！ー バイオディーゼル燃料の利用促進に向けて 帯広市と協働

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 社長：矢吹健次）は、環境モデル都市・帯広市と昨年9月に締結した「協働のまちづくりに関する基本協定」に基づき、今月より一般販売が開始されたバイオディーゼル燃料を5%配合した軽油（B5燃料）の利用促進に向けた取り組みに参画し、2011年6月23日（木）より製品配送車両などへ一部導入致します。

本日導入を開始する車両は、当社にて現在札幌市清田区の札幌工場と帯広営業所を結ぶ拠点間輸送で使用されている大型18tトレーラー1台と、帯広市内の自動販売機・店舗等へ製品を配送するルートトラック2台、商用車1台の、計4台となり、年間約4万リットルのB5燃料使用が見込まれます。

なお、バイオディーゼルの商業使用は、日本コカ・コーラ株式会社と全国のパトラー12社などで構成する日本のコカ・コーラシステムでは、今回が全国で初めての試みとなります。



札幌市清田区の札幌工場と帯広営業所を結ぶ拠点間輸送で使用される大型18tトレーラー

政府より環境モデル都市として認定された帯広市は、これまで家庭から出る廃てんぷら油を回収し、バイオディーゼル燃料を製造する取り組みを進めてまいりました。

当社は、昨年9月に帯広市と「協働のまちづくりに関する基本協定」を締結し、市内へのソーラー自動販売機や最高水準の省エネ自動販売機の導入などによる、先進的なCO2削減取組を協働で進めてまいりました。

このたび、帯広市内のガソリンスタンドでB5燃料の一般販売開始を機に、さらなる環境への協働事業として、当社の製品配送車両におけるB5燃料の導入を決定いたしました。

今回導入される車両には、帯広市との協働取り組みであることを表した専用の塗装・ラッピングを施し、より多くの方にこのバイオディーゼル燃料：B5燃料を知って頂き、使用して頂けるよう、広く普及啓発に寄与していきたいと考えています。

バイオディーゼル燃料の導入は、これからのCO₂排出量削減に向けた施策の一つとして社会的にも期待されているものであり、気温等、日本において最も冬の気象条件が厳しい地域のひとつである帯広での運用実績を踏まえ、コカ・コーラシステムでは、他地域（バイオディーゼル燃料の供給インフラなどの社会的な条件が整った地域）での展開を検討してまいります。

日本のコカ・コーラシステムでは、2015年までに事業全体のCO₂排出総量を約30%削減し、2015年時点で約60万トンのCO₂排出総量を削減する計画です。全事業プロセスの約16%のエネルギー消費を構成する物流・輸送部門においては、配送の効率化やエコドライブの推進、ハイブリッドディーゼルトラック等の低公害車の導入などを実施してまいります。

<ご参考：帯広BDFについて>

帯広市におけるBDFの取組みは、地域から地球温暖化防止に貢献する手法のひとつとして、一般家庭から出る廃てんぷら油を回収するモデル事業として、市民や企業、NPOの協力を得て2008年より取り組んでいます。スーパーやガソリンスタンドなど市内200以上の拠点を通じ回収されており、2009年度の回収量は約14万リットルに及びます。

「バイオディーゼル使用車両出発式」お知らせ

日時	平成23年6月23日(木)	10:00~10:30
場所	帯広市役所 正面玄関ロータリー前	
内容	北海道コカ・コーラボトリング(株)と帯広市は協働の街づくりに関する基本協定を締結しており、その取り組みとしてB5燃料の利用と普及啓発をすすめることを記念し、出発式を開催します。	
出席者	帯広市 副市長	嶋野 幸也
	デービーオイル株式会社 代表取締役社長	野村 文吾
	株式会社エコエルク 代表取締役社長	爲廣 正彦
	北海道コカ・コーラボトリング 常務取締役	横山 英三
	日本コカ・コーラ株式会社 バイスプレジデント	坂口 恵
	幸楽輸送株式会社 取締役社長	関本 康夫

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社
広報・CSR推進部 広報課 担当：小澤
TEL 011-888-2091